令和８年度 グリーンスローモビリティ実証実験_大谷口地区
地域サポーター説明会・運転手講習会　議事要旨

■日時：①令和８年９月 15 日（火）10 時 00 分～14 時 00 分
：②令和８年９月 19 日（土）10 時 00 分～14 時 00 分
：③令和８年９月 28 日（月）13 時 00 分～15 時 00 分

■場所：細野自治会館

■出欠：①参加者 14 名（細野自治協力会９名、周辺自治会４名、その他関係者１名）
②参加者８名（細野自治協力会５名、周辺自治会２名、その他関係者１名）
③参加者１名（その他関係者１名）

■次第
１．開会挨拶
２．地域サポーターについて
３．運転手について
４．運転実技講習

■配布資料
次第
資料１－１　地域サポーターについて
資料１－２　地域サポーター１日の流れ
資料１－３　さいたま市 グリーンスローモビリティ実証実験 運転対応マニュアル
大谷口地区（10/1～10/14）
資料２　運行時の危険箇所
参考　令和８年度 グリーンスローモビリティ実証実験 -大谷口エリア詳細版- チラシ

■議事要旨

■議題

（1）地域サポーターについて

・商店等で買物した荷物のみグリスロで運び、細野自治会館で保管するような対応は可能とすべきか。

→細野自治会館での保管は不可能ではないが、荷物の取り違え等の懸念があるため、地域サポーターが責任を持って対応可能であれば、地域の独自ルールとして検討することは可能。他の地域サポーターの方の意見等を確認し、実証運行開始までに地域でルールを検討の上、アナウンスする。

（2）運転手について

・後続車や後続の自転車がいる場合、追い越し可能な道路では幅寄せをして進路を譲るべきか。

→後続車が連なる場合等であれば進路を譲っていただきたいが、過剰に意識する必要はない。進路を譲る場合は、後続車が判断に困らないよう、ウィンカー表示や一時停止等で明確に分かるように対応願いたい。

・停留所が敷地内である場合、直進して入り、後進して進路に戻る必要があるか。

→敷地内に直進して入ることはせず、敷地内に幅寄せして停車し、後続車が通り抜けられるスペースを確保する程度を想定する。

・サミット前の沿道で木が生い茂り、見通しが悪い箇所があるため、走行時は細心の注意が必要。

・ファミリーマート浦和大谷口店の停留所では、駐車場の利用状況によって、想定ルートとは異なる対応が必要となる可能性があるが、臨機応変に対応願いたい。ただし、ファミリーマート前の幹線道路（県道1号線）には進入しないこととする。

・事前の運転練習は可能か。

→平日 9～15 時の時間内での車両の使用は可能。その際は、万一のリスクを考慮し、必ず2名以上で乗車すること。また、運転手を担う方は、交通手段は問わないので、運行開始までに停留所の位置を確認

しておくこと。

・細野自治会館の車両保管場所から運行開始場所までの車両移動は、運行管理者にて行うこととする。そのため、運行終了後の車両及び機材の充電作業は原則、運行管理者にて行う。

・昨今、タクシーにおいてもドライバーへ危害を防ぐアクリル板等を設置しているが、今回はそのような対策措置は講じないのか

→グリスロは車内外とのコミュニケーション促進を図る移動手段であり導入効果が半減するため、そのような措置は検討していない。また、地域の皆さまの共助によるボランティア輸送であるという観点からもむしろコミュニケーションを楽しんでいただくことを想定している。

■当日の様子



▲　講習の様子



▲　車両の説明



▲実技の様子



▲実技の様子